

重粒子線治療

— がん治療の新たな選択肢 —

前立腺がん



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE - YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属病院

『重粒子線治療』を

お勧めする 3 つの理由

1

効き目が強い

他の放射線に比べ破壊力が強く、今まで効きにくいとされてきた骨肉腫などにも効果を発揮します。

2

正常臓器への負担軽減

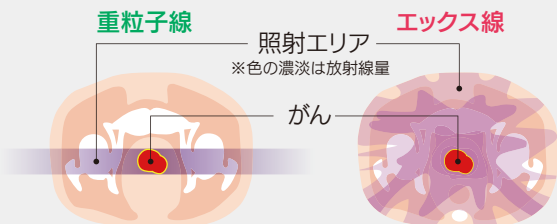
がんに集中的に照射が可能で、周りの正常臓器にはダメージが少ない治療です。

3

短期間で治療できる

他の放射線と比べ、重粒子線は照射回数が少なく、概ね半分以下の短い期間で治療できます。

重粒子線とエックス線の照射範囲の違い



重粒子線のほうがエックス線より少ないビームでがんに集中させることができ、正常組織に当たる範囲や量を抑えることができます。

※すべての照射が完了した際の照射影響範囲
イラストは前立線がんの場合のイメージです。

前立腺がんについて

重粒子線治療の対象となる場合

前立腺生検でがんと診断され、リンパ節や他の臓器に転移していない場合

(ホルモン治療が既に始まっても対象となります)

重粒子線治療の対象とならない場合

- リンパ節や他の臓器に転移している場合
- 前立腺がんが直腸に及んでいる場合
- 前立腺全摘術を実施されている場合
- 前立腺がん既に放射線治療を実施されている場合

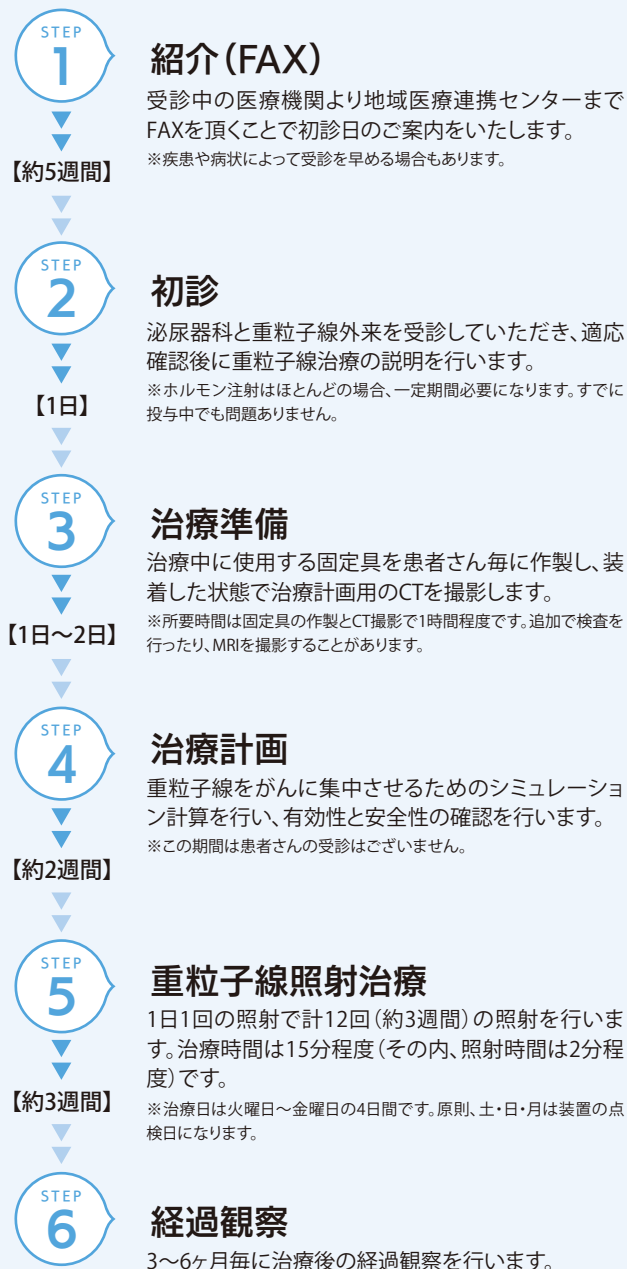
山形大学医学部
東日本重粒子センターは、
世界初の
総合病院接続型の治療施設です。
持病のある方もケアを
受けながら治療を受ける
ことができます。



プライバシーに配慮し、
個室の待合室を
ご用意しております。
通いながら治療できる環境を
ご用意し、患者さんの
負担軽減に努めます。



治療の流れ



治療をご希望の方へ

まずは主治医、お近くの
泌尿器科の先生にご相談ください

治療に際して

前立腺がんの病状に応じて、重粒子線治療のみ、あるいは、重粒子線治療とホルモン治療を併用して治療します。ホルモン治療を併用する場合は、4か月から半年程度ホルモン治療を先行していただき、その後重粒子線治療を行います。

※中リスクと高リスクの方には、重粒子線治療前に半年程度ホルモン治療を先行していただいております。

公的医療保険適用の治療です

転移のない前立腺がんに対する重粒子線治療費は公的医療保険が適用され、自己負担額はその1～3割となります。高額療養費制度※を適用できることから、実際のご負担額は収入と年齢によって決まる月ごとの自己負担上限額となります。

※最新の情報は厚生労働省のホームページをご覧ください。

固定照射室



水平方向から重粒子線を照射する照射室で、主に前立腺がんの治療が行われます。

アクセス

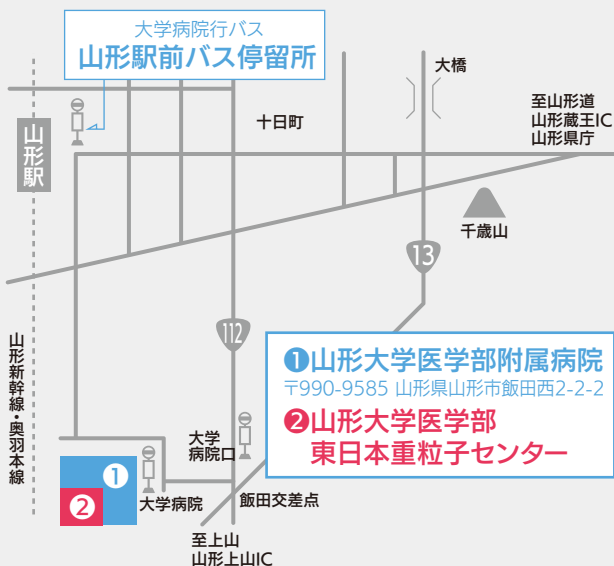
● タクシー

JR山形駅から約10分

● バス

仙台駅前から上山行き高速バス(山交バス・宮城交通)23番乗り場乗車、大学病院口下車(約75分)

山形駅前から大学病院・東海大山形高行きバス(山交バス)乗車、大学病院下車(約15分)



お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務局

TEL **023-628-5404**

受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

東日本重粒子センター

検索



山形大学医学部
東日本重粒子センター
EAST JAPAN HEAVY ION CENTER
FACULTY OF MEDICINE
YAMAGATA UNIVERSITY
山形大学医学部附属病院

©2020 Yamagata University
All Rights Reserved.



GREEN PRINTING JFPI
P-B10196
この印刷製品は、環境に配慮した
原料と工場で製造されています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C170021